

令和4年
2022

第49回運営推進会議

新型コロナウイルス感染拡大防止の為会議は休止しております。

グループホームつながり

登録数16名

男性 3名

女性 13名

令和 4年	1月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	4	3
要介護 2	2	2
要介護 3	3	2
要介護 4	8	8
要介護 5	1	1
申請中	0	0
合計	18	16

平均介護度
3.1

日々の活動報告

12月・1月

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

クリスマス会

ラジオ体操

調理補助

ヘアカット

口腔体操

食器拭き

カラオケ

居室・フロア清掃

1月の職員研修： ユマニチュード

- ユマニチュードとは

“人間らしさを取り戻す”という意味のフランス語。
見る・話す・触れる・立つという4つの柱からなる。
人と人との関係性に着目したケア技法。

- 【ユマニチュード】映像を見て感じた事

フランス人の方が声をかけているのに落ち着かれる・笑顔がみえるのはなぜか？

☞ 言葉が通じている訳ではない。表情・声のトーン・目線・ボディタッチが大切なのでは。

映像の中の看護師も一生懸命対応されていた。

どの職員さんも『この方を大切にしています』という自負があると思うが、大切なのは『その方自身が私は大切にされている』と感じられる事。

普段の介護を振り返り、強く言っているつもりはないが、知らず知らずのうちに傷つけて、切ない思いに拍車をかけている事があるのかもしれない。

例えばインフルエンザにかかった事がある方は、インフルエンザに罹った方の気持ちがわかる。歯が痛くなったことのある方は歯が痛い方の辛さがわかる。
認知症になったことの無い私達が認知症の方の苦しみを知ろうとするなら学ぶしかない。

・認知症になりたい方はいますか？

なぜなりたくないのですか？

☞ 自分のことが分からなくなるのは嫌だ。
周りの人に迷惑を掛けたくない。
自分のことを理解してくれないと思う。
優しく接してくれないのではないか。

* 入居者の皆様もなりたくなかった訳ではありません。

私たちがどのように接したらよいか、今日の研修を参考にして
より良い関りが出来るようにしていきましょう。

気づき・アクシデント

12月・1月

・ アクシデント 4件

内容:Y・N 様 12月7日(火) AM 10:00

浴室前の通路に車椅子だけ発見する。すぐに駆けつけると浴室のドアが開いており中に一人で入っているN 様を発見する。手すりに掴まっていたため転倒などは無かったが危険であった。

2名の職員は他の入居者様の介助に当たっていたが、2人ともフロアーからいなくなる事は極力無い様にし、外れる場合は他に注意を払いながら対応するようにする。

T・S様 1月25日(火) AM 8:00

S 様居室で背部に貼付する貼薬が落ちているのを確認する。

本来両サイドはがすシートの片面しか外れていない為落下したものと思われる。

十分注意ししっかり貼付する様にする。

・ 気づき 20件

内容:K・I 様 12月10日(金) PM 6:00

夕食終了間際、テーブルにあったティッシュペーパーを口へ入れようとされる。

職員が気づいた為口へ入れる事は無かったが、初めての行為である為今後も注意するよう周知した。

謹賀
新年



グループホームつながり

☎ 055-970-2938